

まちの話題

TOPICS



8/2 美方高校生による 奨学金返還支援制度発表会

わかさで輝く奨学金返還支援制度の申請受付が8月から始まったのに合わせ、役場三方庁舎で、美方高校生が考えた奨学金返還支援制度の発表会を開催しました。

わかさで輝く奨学金返還支援制度は、令和2年度に美方高校の探究学習の時間で発表されたことがきっかけとなっており、この日は、「地元に戻りたくなるまちづくり」と題し、奨学金返還支援制度を中心に研究した美方高校3年生の森下ゆずさん、宮下妃海^{ひな}さん、藤長志帆さんが渡辺町長らに制度の発表を行いました。

発表では、「当時の1・2年生171人にアンケートを実施した結果、将来Uターンを希望していない生徒でも奨学金返還支援があれば地元に戻りたいと答えた生徒が大半であった」と説明し、「この制度で地元に戻ってくる人が増えれば、より元気な若狭町になるはず」と期待を込めていました。

渡辺町長は、「町の活性化につながる内容で、財源の裏付けも取っており、素晴らしい発表でした。今後のまちづくりに活かしていきたいと思います。」と激励しました。

(わかさで輝く奨学金返還支援制度の詳細は、前号の9月号P6を参照してください)



8/4 たがみハッピーロード



先月号(9月号)の表紙でも紹介しましたが、楽しみながらウォーキングに励んでもらおうと、田上区の住民が集落を流れている黒田川沿いの町道約1.7キロの区間に「昨夜のごはん何食べましたか?」「30から逆に1まで数えてください!」など頭の体操にもなるクイズや格言を書いた看板を100メートル間隔で17枚設置しました。



7月20日には、みそみ小学校5・6年約40人が、この日は上中中学校芸術部、三方中学校文化科学部、美方高校美術部合わせて40人で「たがみハッピーロード」と名付けられたウォーキングコースに色とりどりの絵を描きました。

手伝った住民らは「道が明るくなり、多くの人に親しんでもらい、文字通りハッピーになって欲しい」と笑顔で話しました。

8/4 「災害時における 物資供給に関する協定」締結

町は地震、風水害等の災害発生時における物資供給に関する協定をホームセンター大手のコメリを母体とするNPO法人コメリ災害対策センターと締結しました。同センターの古澤常務理事は「協定締結は県内で15の市町と、また全国では958例目となります。万が一の対策として体制を整えています」と挨拶しました。渡辺町長は「住民の安心安全を全国の流通網に支えられ心強く思います。これからも台風や大雪など、いざという時の備えをしっかりとしていきたいと思います」と決意を述べました。



8/4 ゲートボールチーム優勝報告

ゲートボール競技(女子)の福井県若狭チームが、8月1日に長野県で行われた第76回国民体育大会北信越予選会にて優勝し、「三重とこわか国体」への出場権を獲得しました。

この日は、古崎監督とチームメンバー7名が役場三方庁舎を訪れ、渡辺町長に優勝の報告と国体への意気込みを力強く話されました。チームの皆さんは笑顔が溢れ、チームワークの良さが感じられました。

なお、三重国体は9月3日～5日に松阪市で開催される予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルスのため中止となりました。



8/5 若狭ライオンズクラブ上中駅清掃奉仕



若狭ライオンズクラブがこの日早朝6時より、JR上中駅裏駐車場一帯の清掃をしました。草刈りや植木の剪定など、24人のメンバーが約2時間汗を流しました。4トントラック3台分もの草や枝を除去し、見違えるようになりました。



今年度会長の井ノ口清英さん(井ノ口)は「今年はいつもより天候が良いせいか、量も多いようでしたが、会員の協力でなんとか終わることが出来ました。少しでもお役に立てて嬉しいです」と笑顔で話されていました。

8/19 宇波西神社秋まつり

宇波西神社(気山)にて秋まつりが開催されました。神事後、台風等の暴風雨に遭うことなく、豊かな実りの秋が迎えられるよう祈りを込めて舞う「風祈能」が営まれ、若狭能倉座会長の大江幸一さんにより県無形文化財に指定されている「一人翁」が演じられました。翁の面をつけて、ゆったりとした動きで舞を厳かに奉納しました。上演を終えた大江さんは「平穩に過ごせるよう祈りながら舞いました」とホッとした表情で話してくれました。



8/21 プログラミング体験会 inみさきち



若狭町みさき漁村体験施設「みさきち」(神子)で金井学園が主催し、福井工業大学の協力でプログラミング体験会が開かれました。残念ながらコロナウイルス感染が急拡大の中でしたので、キャンセルが相次ぎ参加者が1組でしたが、町内小学4年生の男の子とお母さんが参加し、ロボットの組み立てからプログラミング操作までを体験しました。



小学生でも簡単に組み立てられるレゴのロボットで、30分程度で組み立てられ、その後はiPad上でプログラム言語が組み込まれた視覚的なブロックを組み合わせて操作します。近年小学校にプログラミング教育が取り入れられている事もあり、論理的な思考が養われるとの事です。参加した男の子は「プログラミングした通りにロボットが動くのを見て嬉しかったです、また参加してみたいです」と話してくれました。

ご長寿お祝い訪問

渡辺町長が若狭町内のご長寿の方々を訪問し、祝状と記念品を贈りお祝いしました。

8/22

福谷喜義さん（能登野）は今年88歳になりました。

23歳から60年以上にわたり「若狭能倉座」で活躍され、昨年まで第83代座長としても長年務められました。能の上演に先立ち、精進潔斎のため行う水垢離のおかげで病気知らずとのことで「これからも元気で指導させていただき、伝統を守っていきたい」と決意をおっしゃっていました。



8/23

北原房枝さん（下タ中）は今年100歳になります。

とてもお元気で趣味も多く、93歳までは踊りの師匠として活躍されていました。「手先を動かすのが好き」と今でも日本人形や手まりなどを制作したりして過ごされています。先の大戦では、台湾で子どもを連れて逃げ回るなど大変な苦労もされましたが「今は幸せです!」としっかりと口調で答えておられました。



8/23

福井ユナイテッドFCとのUnite(ユナイト)タウン協定締結



町はサッカーを通して交流を深めようと、サッカー北信越1部の福井ユナイテッドFCを運営する福井ユナイテッド株式会社とユナイトタウン協定を締結しました。

同チームが6月に嶺南初となる公式戦を行うにあたり、PRも兼ねて5月に若狭町をはじめ嶺南全域を訪問しました。その後、町内でサッカー教室を開いたり、地元の伝統漁法「うなぎ筒漁」を体験するなどして交流したことがきっかけで、県内初の締結が決まりました。

協定書では、町民の心身の健全な発達に関すること、スポーツの振興に関すること、地域の活性化に関することなど、5項目で連携するとしています。

今後はスポーツの魅力伝えるため、地域イベントへの参加や高齢者向けの体力増進のプログラムなども考えていこうです。

締結式では渡辺町長、松宮教育長と、福井ユナイテッドの服部社長が出席し、署名を行いました。渡辺町長は「この協定をきっかけにホームタウンとして貢献していきたい」と述べ、服部社長は「交流の少ない嶺南でもファンが増えれば嬉しいです。今回の締結をこのきっかけとしていきたい」と挨拶しました。

8/29

パレアdeウクレレ体験会

誰でも気軽に演奏できるウクレレの魅力を知ってもらい、子どもから大人までみんなで一緒に音楽を親しめるウクレレの体験会をパレア音楽ホールで開催しました。

参加者は小学3年生から70代までの幅広い年代の方で、ほとんどの方がウクレレ初心者でしたが、約1時間の体験で「スタンド・バイ・ミー」などの名曲をみんなで演奏ができるようになりました。

サプライズで講師による演奏と歌の披露もあり、和やかな体験会となりました。

〈写真：四方由紀子〉



8/24

三方区が国土交通大臣表彰を受賞

三方区で2010年から地元住民約15人で国道27号線と162号線の交差点に花壇を整備し、ここにベゴニア、あじさいやサツキなどを植え、水やり、除草や季節ごとの花替を行い、ドライバーの目を和ませています。これを受け、国土交通省は8月の「道路ふれあい月間」に合わせ大臣表彰の運びとなりました。

8月24日、県庁にて土木部の西出俊亮部長より三方区長の大畑素夫さんへ感謝状が伝達されました。大畑区長は「昨年の都市緑化知事表彰に続き地道な努力を評価していただき、ありがたく思います。また花苗の提供に快く応じていただいた町や県にも合わせてお礼申し上げます。よく目立つ空き地が雑草で覆われているのを見かねて、周辺の住民が自主的に花壇づくりを始めました。区内には他にも老人会が花壇整備、また個人的にもボランティアで草刈りをされている方もいます。このような集落美化は防犯防災はもとより、住みよいまちづくりにつながり区としてもありがたいと思っています」と話されていました。



大畑素夫区長



三方交差点花壇



みかた温泉 きららの湯

健康通信

第15回

ふるえ（振戦）ーパーキンソン病ーのツボ療法

ふるえの原因と症状

ふるえは寒さや精神的な緊張により生じる生理的（非病的）振戦以外に、脳梗塞や小脳障害などの神経系疾患、甲状腺機能亢進症や肝機能障害などの代謝系疾患、原因が明らかでない本態性振戦など多彩な疾患で生じます。ふるえを主症状とする代表的疾患としてパーキンソン病があります。パーキンソン病の多くは50歳代で発症し、安静時のふるえに加えて、筋肉のこわばり（筋強剛）、動作緩慢、歩行障害、異常姿勢（前かがみになる）などを生じます。

危険なふるえとパーキンソン病のセルフケア

- 突然発症したふるえ
- 50歳未満で発症したふるえ
- 運動麻痺や歩行障害、構音障害（発声障害）、頻脈を伴うふるえ

は専門医への早急な受診が必要です。それ以外でも異常なふるえを感じたらまずは病院を受診してその原因を明らかにする必要があります。

パーキンソン病のふるえにはストレッチや運動により緊張と血流を改善することで症状の緩和を図ります。温泉で温まることも効果的でしょう。また、活動的な日常と十分な休息を組み合わせたりリズムカルな生活をおくることが大切です。

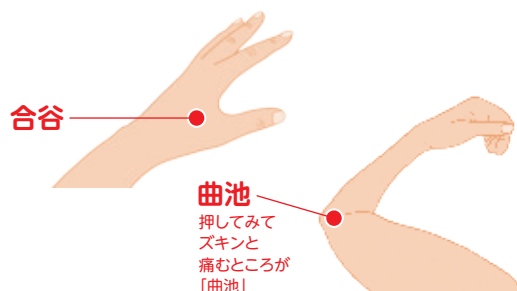
パーキンソン病のツボ「合谷」「曲池」

合谷…両手の甲にあるツボです。親指と人さし指の骨がまじわったところから、やや人さし指よりの凹みに取ります。

曲池…両肘にあります。肘を半ば曲げ、肘窩横紋の外端にとります。

どちらのツボも陽明経という経絡上にあり、脳内の血流に影響を与えると考えられています。指腹で押して一呼吸、緩めて一呼吸を繰り返します。治療院では両ツボにふるえに合わせた電気刺激を与えることで症状軽減を図ります。

治療院では「パーキンソン病に対する鍼灸治療」に関する資料を用意しています。お問い合わせください。



明治国際医療大学 きららの湯若狭鍼灸院院長 江川雅人 ☎0770-45-1517

宝くじ文化公演

らく ほし 渡辺 徹の音楽付き朗読会
～ 砦と星の ミュージック・ストーリーズ

Music Stories ～

世代をこえて読み継がれる日本生まれの名作を
名俳優の語りでお届けする朗読コンサート

演目

くもと山いのイノシシびょういん (かこさとし作)
うたのすきなかえるくん (かこさとし作)
よだかの星 (宮沢賢治作)
セロ弾きのゴーシュ (宮沢賢治作)



かこさとし
(豊前市出身)



宮沢 賢治

朗読	渡辺 徹	(文学座)
	磯辺 万沙子	(劇団昴)
	千田 美智子	(文学座)
朗読・歌	杉尾 真吾	(オペラ歌手)
演奏	羽川 真介	(チェロ)
	笈沼 甲子	(ピアノ)
音楽	神原 いづみ	(『うたのすきなかえるくん』作曲)
	石田 公代	(かこさとし作品パート 編曲・協力)
演出	生田 みゆき	(文学座)



朗読
渡辺 徹

パレア若狭 音楽ホール

12月5日(日)

開場14:30 開演15:00

チケット好評発売中!

プレイガイド

パレア若狭チケットカウンター
(受付時間 9:00～18:00)
創楽堂(小浜市)
オーディオ渡辺(敦賀市)

チケット
全席指定

— 一般:1,500円 * 高校生以下:1,000円 ペア券:2,000円

・宝くじの助成により、特別料金となっております。前売りで完売の場合、当日券の販売はありません。
・5歳以上未就学児入場可。
・託児所(有料)をご希望の方はご相談ください。
締切11月21日(日) 対象:1歳以上、小学校3年生まで。

主 催 若狭町、福井県、(一財)自治総合センター

後 援 福井新聞社

問合わせ パレア若狭チケットカウンター TEL0770-62-2506



この公演は、全国公立文化施設協会作成のガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮し実施します。ご来場の際はマスク着用のうえ、咳エチケット、手洗い・手指消毒の徹底をお願いします。咳・咽頭痛等症状がある方、37.5度以上の熱のある方は入場できません。また、チケットの販売は福井県在住の方のみが対象となります。